



令和 7 年 8 月 4 日

報道機関 各位

遠藤彰子氏の作品寄贈に伴う 感謝状贈呈式を行います

日頃はサントミュージーゼ上田市立美術館の事業に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
このたび、上田市立美術館では、画家の遠藤彰子氏から作品をご寄贈いただくこととなりました。遠藤彰子氏は、日本を代表する洋画家の一人で、令和 4 年にサントミュージーゼ上田市立美術館で展覧会を開催したことを契機に、作品が寄贈されることとなりました。

つきましては、下記のとおり感謝状贈呈式を行いますのでご案内申し上げます。詳細は別紙をご覧ください。

なお、取材を希望される場合は、当日、上田市役所本庁舎 4 階秘書課前までお越しください。

遠藤彰子様 感謝状贈呈式

- ◆ 日 時 令和 7 年 8 月 8 日（金） 14 : 00 ~ 14 : 30
- ◆ 会 場 上田市役所本庁舎 4 階第一応接室
- ◆ 作品について 当日会場に作品展示はしません。詳細は別紙のとおり。

上田市は「SDGs 未来都市」です。



上田市は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

【お問い合わせ先】

サントミュージーゼ 上田市立美術館（火曜休館）
〒386-0025 長野県上田市天神三丁目 15-15
TEL: 0268-27-2300 FAX: 0268-27-2301
artmuseum-promotion@city.ueda.nagano.jp
担当：岡田



《街（たそがれ）》1982年 油彩、キャンバス 130.0×162.0 cm

寄贈者 遠藤彰子（えんどう あきこ）

経緯 2022年12月16日から2023年2月12日に上田市立美術館で「巡りゆく 遠藤彰子展」を開催。その際に作家本人から寄贈の申し出があった。

作品について

本作は、遠藤彰子が画家として広く知られることとなった“街シリーズ”のうちのひとつ。奥へ向かう方向と手前から下へ向かう方向を組み合わせ、空間の捻れを意図的に作りだし見るものを誘い込む。多視点による迷宮のような画面構成が特徴の街シリーズは、構図が複雑化していく傾向にあるが、本作は初期にあたる作品。コンクリートのような構造物、煙突、階段、その中を行き交う群像など、街シリーズによく登場するモチーフが描かれている。これらのモチーフを画面構成において効果的に用いて空間や動きを描き出す手法や、現実的なモチーフを非現実的な空間に配置することで共感と違和感を呼ぶ作風は、以降の遠藤作品における特徴ともなっている。最新図録『遠藤彰子 魂の旅』ODESSEY(青幻舎 2021年)収録作品でもある。

作家プロフィール

1947年東京都生まれ。武蔵野美術大学短期大学卒。1986～87年文化庁芸術家在外研修（インド）。1986年安井賞展安井賞受賞、2007年芸術選奨文部科学大臣賞受賞、2014年紫綬褒章受章。1999～2011年山本鼎版画大賞展審査員。2023年毎日芸術賞受賞。武蔵野美術大学名誉教授、二紀会理事、女流画家協会委員。【近年の展覧会（個展）】2021年 鹿児島市立美術館、平塚市美術館、2023年 山形美術館、釧路市立美術館、2024年札幌芸術の森美術館【収蔵先】東京国立近代美術館、横浜美術館、茨城県近代美術館、富山県美術館、府中市美術館、他多数

遠藤 ^{あきこ} 彰子 様 感謝状贈呈式 次第

日時：令和7年8月8日（金）

午後14時00分から

場所：本庁4階第一応接室

- 1 開会
- 2 遠藤様 ご挨拶
- 3 感謝状の贈呈
- 4 記念撮影
- 5 土屋市長 お礼の言葉
- 6 懇談
- 7 閉会